

平成30年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

## 半田市地域公共交通会議

平成28年1月28日設置

調査事業（計画推進）

平成30年3月30日 半田市地域公共交通網形成計画策定

## 地域特性と背景

- 人口は約11.7万人（平成27年）、半田市人口ビジョンでは減少する見込み
- JR武豊線沿線や名鉄河和線沿線に住宅地が広がり人口が密集している
- バス路線は、知多乗合(株)6路線が運行していたが、運行本数が少なく、路線などの見直しもされてこなかったことから、利便性が低く、利用者の減少に伴い、区間短縮や廃線が進められてきた
- 市内に観光施設はあるが、バス路線は利用されていない

## 地域公共交通の取り組み

- 平成28年1月に半田市地域公共交通会議を設置
- 平成28年5月に「半田市地域公共交通条例」を制定
- 平成30年3月に半田市地域公共交通網形成計画を策定（5か年 H30～H34）
- 平成30年10月に公共交通の再編
  - ・ 基幹路線バス（2路線）
  - ・ 地区路線バス（3路線）

### 「おでかけ環境が充実した 住み続けたいまち 半田」

**基本方針Ⅰ** 半田市の一体性の強化及び観光施設・イベントを回遊できる公共交通ネットワークの再編（地域・拠点・観光の連携・協働）

**基本方針Ⅱ** 半田メインストリートにおける公共交通サービスの充実（まちづくりと交通の連携・協働）

**基本方針Ⅲ** 各生活圏のおでかけニーズに対応した公共交通サービスの確保（多様な公共交通の連携・協働）

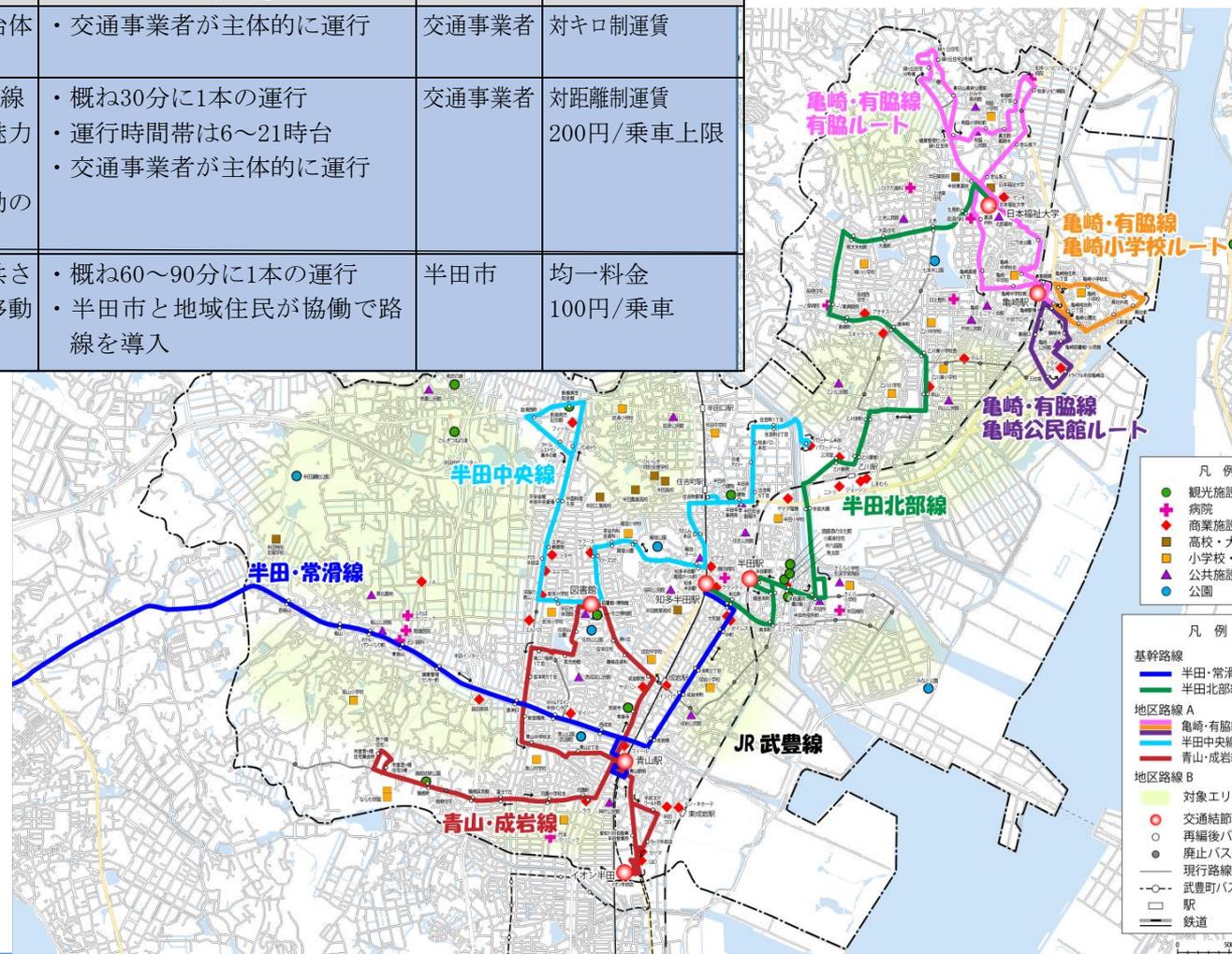
**基本方針Ⅳ** 関係者が連携・協働し公共交通を支え育む仕組みの構築（地域公共交通に関わる関係者の連携・協働）

## ■公共交通ネットワークの再編

半田市の上位計画との整合を図るとともに、市民ニーズの把握や市民との話し合いを重ね、半田市地域公共交通網形成計画を策定した。

そして、本計画に基づき、平成30年10月に公共交通ネットワークを再編。

種類	路線機能	サービス確保の考え方	運営	料金体系
鉄道	隣接市町や名古屋市方向を結ぶ自治体間移動ニーズに対応する路線	・交通事業者が主体的に運行	交通事業者	対キロ制運賃
基幹路線	市内人口集積地と中心拠点を結ぶ路線 市域の一体性を強化し、半田市の魅力を創出する路線 半田メインストリートにおける移動の利便性を確保	・概ね30分に1本の運行 ・運行時間帯は6～21時台 ・交通事業者が主体的に運行	交通事業者	対距離制運賃 200円/乗車上限
線A 地区路	既存路線バスによるサービスが提供されていた地区や主要観光地を結ぶ移動ニーズに対応する路線	・概ね60～90分に1本の運行 ・半田市と地域住民が協働で路線を導入	半田市	均一料金 100円/乗車



## 「愛され」「親しまれ」「知ってもらい」「利用してもらうために」

- バス愛称の募集 (応募 74 件)
- 新たなバス路線試乗会 & 暮らしの足市民会議 (3地区 60名)
- 着ぐるみを活用した出発式 (ゆるきゃらGP 2015全国 9位)
- 半田商業高校生との協働事業



## 「愛され」「親しまれ」「知ってもらい」「利用してもらうために」

- 地域におけるバス説明会  
(新居地区、成岩地区、亀崎地区)
- 公共交通マップ、バス停表示物の工夫
- 路線バス企画  
「ごんくるスタンプラリー」、  
「親子で途中下車の旅(16名参加)」
- 乗り継ぎ拠点の整備(待合い環境など)
- 市内バス路線共通1日乗車券の発行

2018年10月1日現在

青成バス 青山・成岩線

# A2

半田コロナワールド西

## 時刻表

イオン半田店方面		乗継拠点	
当駅		青山駅	
発時刻		着時刻	
時	分	分	
5			
6			
7			
8			
9	06	17	
10	06	17	
11	36	47	
12	36	47	
13	36	47	
14	36	47	
15	36	47	
16	36	47	
17			
18	06	16	
19	06	16	
20			
21			
22			

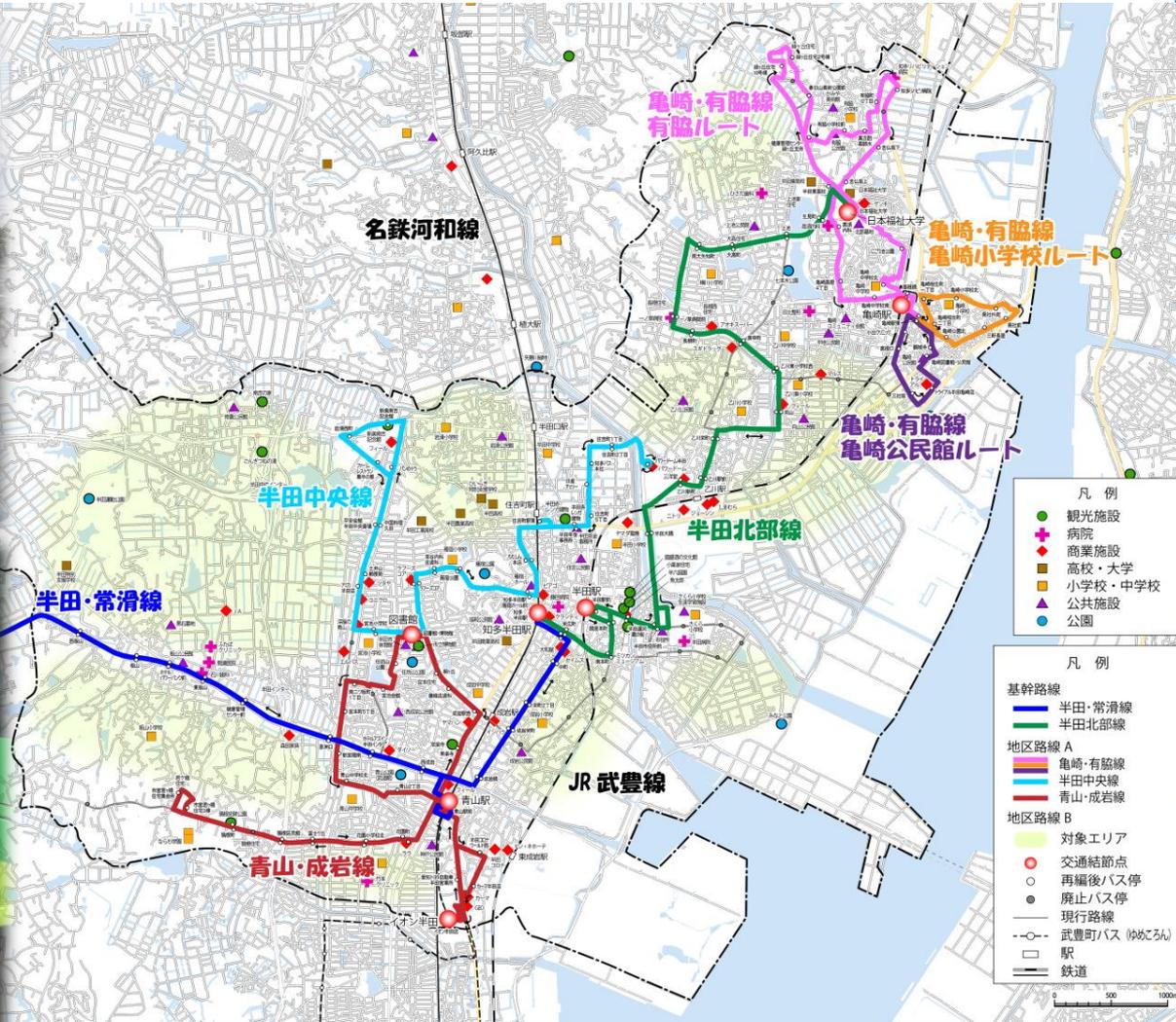
半田・常滑線					
知多半田駅方面		西板山方面			
発時刻		青山駅			
分	分	分	分		
			49		
09	34	39	09	29	49
	14	39	09	29	59
	19	39	29		
	09		29		
	09		29		
	09		29		
	09		29		
09	39		29	59	
	09		29	59	
	09	39		29	59
	09	39		29	59
	09			49	
	09	39		19	
		39		19	
	09			54	

知多バスの時刻表について  
知多乗合(株)の自主運行路線と  
なる半田北郊線、半田・常滑線  
の詳細時刻表は知多乗合(株)の  
ホームページをご覧ください。

※毎日運行 曜は平日のみ、●は休日のみ運行します。  
 ※道路交通事情により時間どおりの運行が困難となる場合がありますので、あらかじめご理解とご了承くださいませ  
 ※忘れ物・運行状況のお問い合わせは知多乗合(株)へ 電話(0569)21-5234



様々な住民ニーズ調査や地域市民との公共交通に関する語り合いの場「くらしの足市民会議」を重ね、半田市地域公共交通網形成計画を策定し、平成30年10月から、新たな公共交通体系によるバス路線の運行が始まった。今後は、地域住民と一体となった利用促進事業を展開し、路線の確保、維持、拡充を進める。



■ 市民への周知を始め、半田市地域公共交通網形成計画に掲げた目標達成のため、様々な事業に取り組む

- ・ 利用しやすいバス車両の導入（平成30年度）  
低床式のバリアフリー車両の導入
- ・ 分かりやすい公共交通マップの作成（平成30年度）
- ・ 高校や大学と連携した利用促進（平成30年度～）  
利用する世代を広げるため、高校生や大学生によるバスめぐりマップなどの制作
- ・ 交通結節点の整備（平成30年度～）  
待合い環境の整備、乗り継ぎ可能ダイヤの設定、バスロータリーの新設など
- ・ 企画切符の導入（平成31年度～）  
観光施設や商業施設と連携した企画切符の導入
- ・ 運転免許証自主返納者への支援（平成31年度～）
- ・ 利用者の少ない路線の見直し（平成31年度～）  
利用者が少ない路線の運行地域との話し合いを重ね、路線や運行方法などを見直す

**目標値 (H34)**

市内の鉄道利用者	42,000人/日 (H28: 39,000人/日)
市内のバス利用者	2,700人/日 (H28: 1,100人/日)
公共交通利用者の満足度	30%以上 (H28: 17%)

平成30年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（経緯）

## 半田市地域公共交通会議

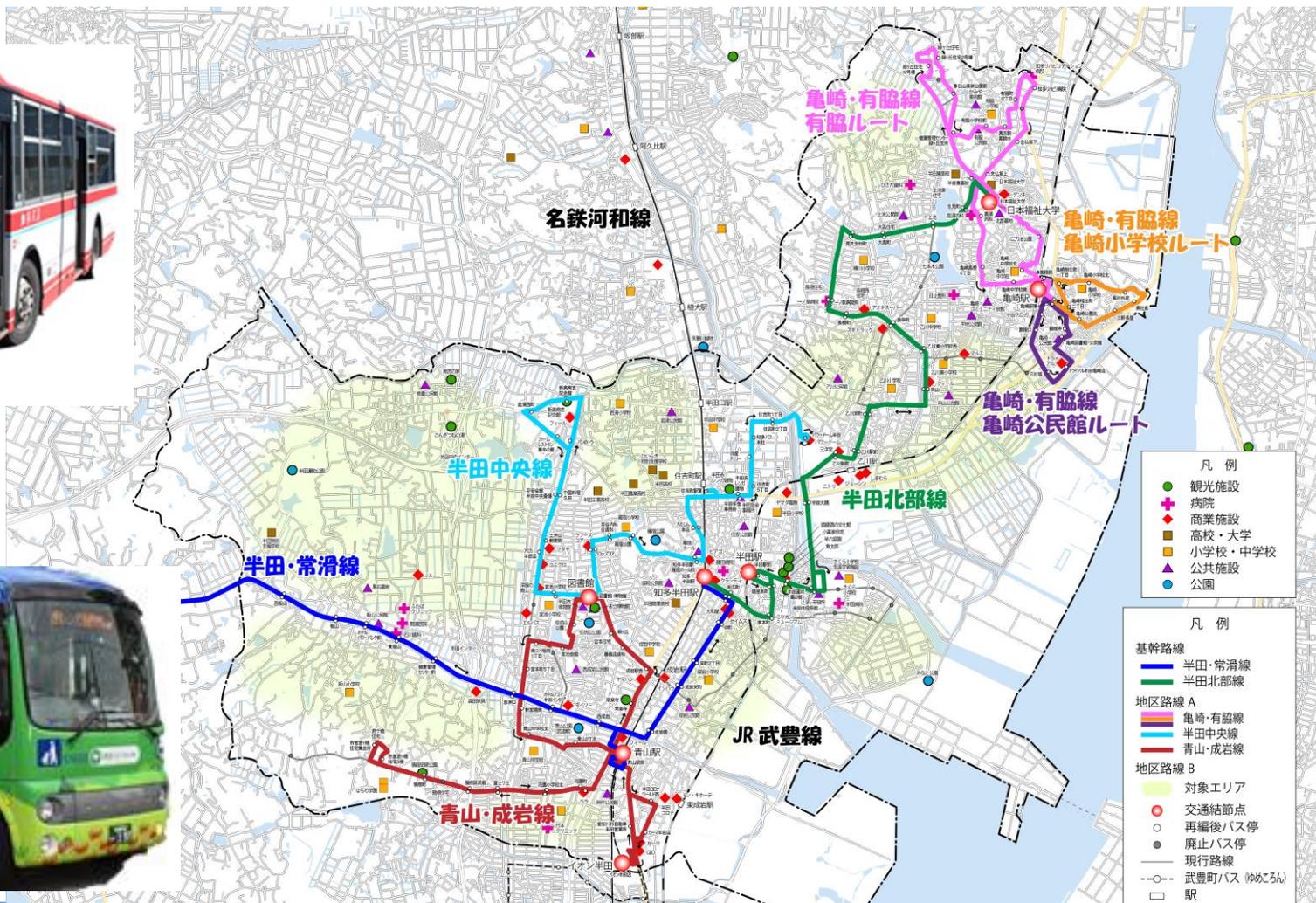
平成28年1月28日設置

フィーダー系統 平成30年6月28日 確保維持計画策定等

直近の第三者評価委員会 における事業評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
<p>平成29年度二次評価 地域住民のニーズ把握や主 要集客施設、高校生アン ケート調査により得られた データの蓄積を分析するこ とにより、ネットワークの 形成に向け各路線の役割を 明確にできた。 今後、更なるデータを分析 する等、網形成計画を策定 し、地域と協働で利用促進 を図るとともに、新たな公 共交通ネットワークの構築 を期待する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年3月に半田市 地域公共交通網形成計画を 策定</li> <li>・市内高校生との協働事業 を展開（バスめぐりマップ 作り）</li> <li>・各種調査を基に、新たな 公共交通ネットワークを構 築した</li> <li>・各地域におけるバス試乗 会やくらしの足市民会議、 などを行うなど、まず、新 たな路線を知ってもらう活 動を展開した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して実施する</li> <li>・新たな公共交通ネット ワークに合わせた運行とそ の後の維持</li> <li>・バスに愛着を持っていた だけの事業の継続的な実施 と協働事業の働きかけ</li> </ul>

市内の路線バスは、廃線や路線短縮により、公共交通空白地域が拡大したことに加え、路線バスの赤字補てん額も増加しており、財政負担の軽減や交通空白地域の縮小を図る意味からも、全市における総合的かつ効率的な公共交通体系の構築が急務となっていた。

平成30年10月に再編した新たな公共交通体系は、民間事業者の運行する「基幹路線」と市が運営する「地区路線」で構成され、運賃形態や乗り継ぎ、1日共通乗車券など、官民のバス路線が一体となり、利用者の増加などに取り組んでいる。



- 凡例
- 観光施設
  - ✦ 病院
  - ◆ 商業施設
  - 高校・大学
  - ▲ 小学校・中学校
  - 公共施設
  - 公園

- 凡例
- 基幹路線
- 半田・常滑線
  - 半田北部線
- 地区路線 A
- 亀崎・有脇線
  - 半田中央線
  - 青山・成岩線
- 地区路線 B
- 対象エリア
  - 交通結節点
  - 再編後バス停
  - 廃止バス停
  - 現行路線
  - - - 武豊町バス (ゆめこみ)
  - 駅

